

## 新基本構想の概要

### 1 基本構想とは

まちづくりの基本理念や将来都市像と、これらを実現するためのまちづくりのビジョンを示すもの。区のすべての施策・事業は基本構想を実現するために実施される。

現基本構想は平成 16 年 10 月に策定 計画期間は平成 28 年度まで  
地方自治法の改正（平成 23 年 5 月公布）により基本構想の策定の義務付けがなくなった。

### 2 基本構想策定の必要性

足立区では過去 30 年間で急速に高齢化が進展し、今後は更なる人口減少社会への突入が予測される。高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に住み続けられる仕組みづくりと、担税力のある若年層を呼び込む魅力あるまちづくりが必要である。

そのためには、新たな足立区政のビジョン（基本構想）を策定し、将来も変わらず活力あるまちであり続けるための行政運営が求められる。

### 3 自治基本条例と基本構想の関係

#### （１）自治基本条例とは

平成 17 年 4 月 1 日施行の自治基本条例は、区政の基本的なルールを定め、区民参画と協働による区政運営のしくみを制度的に保障した「区の最高規範」に位置づけられる条例

#### （２）基本構想についての条文

（基本構想等）

第 12 条 区は、政策の基本的方向を示す基本構想を定めるとともに、その実現を図るため基本計画その他の計画を策定し、総合的かつ計画的な区政運営を図らなければならない。

### 4 基本計画との関係

- ・基本計画：基本構想を実現するための網羅的な施策体系
- ・現基本計画は平成 21 年度から平成 28 年度までのものであり、平成 29 年度からの新基本計画を新基本構想と整合させて策定予定（主として職員による基本構想・基本計画策定会議及び同作業部会により策定）

### 5 基本構想計画期間

今後 30 年間を視野に入れて策定し、必要に応じて見直しする。